

都市の成長力強化、活性化、安全・安心の確保につながる道路等社会基盤整備について

東海部会提出
説明担当 豊田市

(理由)

愛知県は、世界をリードするモノづくり産業の中核としての顔を持つ一方、高齢者の増加に伴う生産年齢人口の減少、巨大地震・津波の切迫、公共施設の老朽化等の課題を抱えている。この状況を踏まえ、消費の拡大とさらなる企業収益の増加を実現し、経済の好循環を生み出していくためにも、物流の効率化を図り、更なる生産性向上に向けた取り組みが急務となっている。また、都市の成長力強化を推進させつつ、市民の安全・安心の確保も重要な取り組みである。

今後、2019年のラグビーワールドカップ日本大会を始めとした国際イベントの開催、2027年度のリニア中央新幹線の開業などのビッグプロジェクトにより、国際イベントを契機とした観光の活性化等に向けても、道路等の社会基盤の集中的な整備が必要である。

よって、下記の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

1 交通拠点と生産拠点を結ぶ広域幹線道路網の整備について

「中京大都市圏」づくりの取り組みを進める中で、空港・港湾等の交通拠点と生産拠点とを結ぶ広域幹線道路の未供用区間について、早期開通に向けた整備を加速するとともに、広域幹線道路を補完し、都市間の交流や連携の役割を担うバイパスの早期整備を図ること。

2 ラグビーワールドカップ2019™日本大会を始めとした国際イベントの開催に向けて

ラグビーワールドカップ2019™日本大会等の国際イベントの開催に向け、安全で円滑な輸送、来訪を可能とするため、アクセス道路の整備や主要渋滞箇所の改善に資する事業中路線の大会開催に合わせた確実な道路等の社会基盤整備を図ること。

3 リニア中央新幹線の開業に伴うインフラの早期整備について

リニア中央新幹線の東京～名古屋間の開業による時間距離の大幅な短縮により、地域間交流・連携強化に繋がることから、メガリージョン形成に伴う産業・観光振興や地域・まちづくりに寄与するインフラの早期整備を図ること。